

旭中央病院を住民の手に取り戻そう！

旭中央病院は住民の財産です

儲からない「福祉施設は民間に」

旭市議会は、外部からも委員を招き「旭中央病院検討委員会」を設置し、5月14日に結論を出しました。しかし、その結論は「利益追求最優先」となる経営形態への移行です。しかも、検討委員会で決定した移行期限は、市民・職員と話し合い、納得と合意を得ながらすすめる前提になっていないという酷いものです。

こんな経営形態の移行がすすめられてしまったら、利益の出ない部門は切り捨てられ、職員の待遇はさらに悪化してしまいます。

実際に、検討委員のひとりである長隆（おさ たかし）氏は「老人介護施設は民間がやれることで、

民間にまかせるよう検討すべき。大きければいいものではない」との趣旨の発言をしています。

住民の財産であり、地域で迎える

老後の安心につながる施設を、簡単に

に「民間に任せればいい」とは、まさに市民も職員も不在の暴論です。

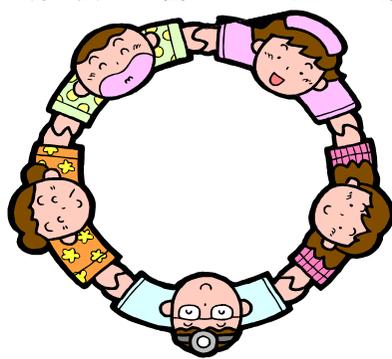
「経営効率最優先」では、地域住民の命も健康も安全も守れません。



病院の体質を改めることが大切

旭中央病院を再生すること、経営形態の見直しは全く関係ありません。それなのに、「旭中央病院検討委員会」は、経営形態の見直しばかり議論してきたのです。

今の旭中央病院の問題は、とりわけ吉田病院長（現、事業管理者）になつてから強まった、病院内の情報を議会や市長も含めた外部に対し一切隠し、民間医療コンサルタントを幹部職員に招き入れ、



それら一部幹部とだけで病院運営をしている体質です。こうした中で、宮本さんは解雇されました。この体質を改め、職員や住民に開かれた、民主的な運営をする病院にすることが必要です。

旭中央病院は、住民が守り発展させてきた大切な財産です。外部から来た民間コンサルタントや、無責任な一部「検討委員」に勝手にさせるわけにはいきません。一緒に、まじめに地域の住民要求に応える旭中央病院に生まれ変わらせましょう。

「ご意見や情報をお寄せください。」「住民の声こそ受け止めよ」の声を市や病院に集中しましょう。

旭中央病院・宮本さんを職場に戻し
地域医療を再生させる会

連絡：千葉市花見川区幕張町5-417-222-111

043-213-5071 FAX 043-275-8210

chibai roren@yahoo.co.jp